

和歌山病院での実習を終えて



今地 美帆子

今回、第3内科の実習の一環で、2日間和歌山病院で実習させていただきました。印象に残ったことをいくつか書かせていただきます。

1 日目の最初に結核についてセミナーをしていただき、実際に結核患者さんの入院している病棟に入りました。結核が空気感染であることや医療スタッフ側が N95 のマスクをつけなければいけないことはわかっていたのですが、結核がなぜ空気感染のみの感染様式で、なぜ患者はサージカルマスクで良いのかという根本的なところを丁寧に教えていただき、より理解が深まりました。N95 マスクをつけるのは初めてで、病棟に入るのは少し緊張しましたが、陰圧になっているところも見せていただいて、自分の目で確認できて良い経験となりました。

南方院長によるセミナーではレントゲン写真の見方を教えていただきました。ポリクリも終盤に近くなり、今までたくさんの患者さんのレントゲン画像を見てきましたが、自分が今まで特に何も考えずにさらっと見ていただけだったとよく分かりました。セミナーを受けてレントゲンを見ることに抵抗がなくなったように思います。また、先生の「自分で考える」という言葉がとても耳に残っていて、その言葉を心に留めて今後のポリクリや医師となってからもやっていきたいと思います。

1 日目の晩御飯は南方院長とお酒を飲みながら、とても楽しい時間でした。今後長く生活していく和歌山のことも自分の出身地のこともあまりにも知らなかったので勉強しようと思います。

2 日間和歌山病院の先生方、職員の方々には大変お世話になりました。とても充実した2日間でした。ありがとうございました。